

グルジアが誇る世界的なバレエダンサー、ニーナ・アナニアシヴィリさんがボルジョミについて語ってくれました。

ニーナさんは幼い頃からボルジョミを愛飲しており、今回日本公演のため来日される際もボルジョミを持参してくるほどのファンでもあります。

彼女曰く、

「ボルジョミは、胃腸を整え、免疫機能を高め、健康にとっても良い。また、美容にとっても良く、この体型を保ち続けるためには欠かせない。

日本の皆さんにも是非飲んでほしい。」

とおっしゃっていました。



ニーナ・アナニアシヴィリ紹介：

ニーナ・アナニアシヴィリ (Nina Ananiashvili, 1963 年 3 月 28 日) は、グルジア共和国のバレエダンサー。2004 年よりグルジア国立バレエ団芸術監督。ポリショイバレエ団のプリマ・バレリーナを 20 年以上、アメリカン・バレエ・シアター (ABT) のプリンシパルを 16 年務めた。シルヴィ・ギエム、アレクサンドラ・フェリ、M=C・ピエトラガラとともに、1980 年代後半～2000 年代を風靡したバレリーナの一人である。地質学者の父親、言語学者の母親の長女としてトビリシに生まれる。先祖はグルジアの貴族だったが 1930 年代に粛清され、父親は男性としての唯一の生き残りであったという^[3]。4 歳でフィギュアスケートを始め、10 歳のとき地区大会で優勝、その後誘われてバレエに転向した。地元のトビリシ・バレエ学校で学んでいたが、13 歳のときにモスクワの関係者の目に留まり、ポリショイ・バレエ学校に編入した。在学中の 1980 年、スターの登竜門であるヴァルナ国際バレエコンクールのジュニア部門で金賞を受賞する。翌 1981 年にモスクワ国際バレエコンクール・ジュニア部門で金賞を受賞後、ポリショイ・バレエ団に入団した。1983 年にソリスト、1985 年にプリマ・バレリーナに任命される。グルジア大統領に依頼され、2004 年に低迷していた母国グルジア国立バレエ団の芸術監督に就任した。私生活では 1988 年^[4]に同郷の外交官・弁護士グリゴル・ヴァシャツゼ (Grigol Vashadze)^[5]と結婚し、一男一女をもうけている。